

住民の安全・安心と九州・山口地域の活力創造のための 社会資本整備について

九州・山口地域は、自動車や半導体関連産業が集積し、また、多彩な観光資源や農林水産資源などを有している。九州・山口地域が一体となって将来に向けた成長戦略を描き、それを実現させていくためには、地域間連携の促進等によって、産業・観光資源等をフル活用していく視点が不可欠であるが、それに必要となる高速道路をはじめとした社会資本整備は依然として不十分なままである。

高規格幹線道路や地域高規格道路は、地域間を結ぶ広域ネットワークとして、九州・山口地域の一体的な浮揚のためにその整備が必要不可欠であるが、九州・山口地域の供用率はそれぞれ 71.7%、28.3%であり、依然として各地域における未整備区間（ミッシング・リンク）が存在するなど、その整備状況は著しく不十分である。

また、九州新幹線は平成 23 年 3 月 12 日に鹿児島ルートが全線開業し、九州各県と民間で組織する九州観光推進機構を中心に、観光客の誘客に向けた取組が行われているところであるが、本来は西九州ルートと 2 線一体の整備により大きな効果が得られるものであり、将来的な見通しが立たないまま、西九州ルートの一部に依然として未着工区間が残されていることは、憂慮すべき事態である。

社会資本は九州・山口地域の産業振興の基盤になるとともに、災害時対応においても重要な役割を担うため、東日本地域の復旧・復興に向けての重点投資を踏まえた形での社会資本整備の中長期的見通しを早期に示しながら、九州・山口地域の社会資本を計画的かつ早期に整備するよう求める。

1 高規格幹線道路・地域高規格道路の着実な整備

九州・山口地域における高規格幹線道路や地域高規格道路は、未だミッシング・リンクが数多く残されているところであるが、特に東日本大震災に見られるような大規模災害が発生した際には、緊急輸送道路としての高規格幹線道路などの果たすべき役割は非常に大きいことから、社会資本整備に関する中長期的な見通しを示した上で、国の責任により計画的かつ早期に整備すること。

2 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の事業促進

未着工区間である諫早～長崎間については、「フリーゲージトレインの取扱い」と「肥前山口～武雄温泉間の単線区間の取扱い」が課題であるとして新規着工が先送りされているところであるが、災害時に他の公共交通機関が被災した場合の代替手段としての役割にも鑑み、今後、武雄温泉～長崎間の標準軌による一括開業を目指して速やかに認可・着工するとともに、上記2つの課題については、国において早期解決を図ること。

平成23年6月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞